

ドローン空撮 8時間超を実現 AEROBO onAir でゴルフ大会を生中継

この度、エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）が開発・製造・販売している AEROBO onAir（有線ドローンシステム）が、日本テレビ放送網株式会社において、日本プロゴルフ選手権大会の撮影に採用されました。

AEROBO onAir は、2019年3月に販売を開始した、エアロセンスの完全自立飛行ドローン「AEROBO（エアロボ）」の新シリーズ。通常のドローンが抱える不可能を、可能にする画期的なソリューションです。



AEROBO onAir の特徴

- ① 飛行時間を気にする心配なく撮影可能
- ② 鮮明な映像クオリティを保つことが可能
- ③ 今日の前で起こった出来事を、リアルタイムで届けることが可能
- ④ 1台でカメラ複数台分の映像表現が可能

① **【8時間以上飛行可能】** 飛行時間を気にする心配なく撮影可能

独自開発のケーブルで飛行中もドローンに直接給電を行うため、選手がプレイ中1度も上空から降ろすことなく撮影を続けることが可能です。離着陸に伴う地上の騒音が低減され、選手がプレイに集中できます。最終日は天候の影響により、1日に2ラウンド行われ、8時間連続で飛行撮影を行いました。

② **【4K映像の非圧縮化】** 鮮明な映像クオリティを保つことが可能

独自開発のケーブルにより、撮影した映像を圧縮することなく保存可能。撮影時の鮮明な映像画質を失うことなく、4K映像を伝送できます。

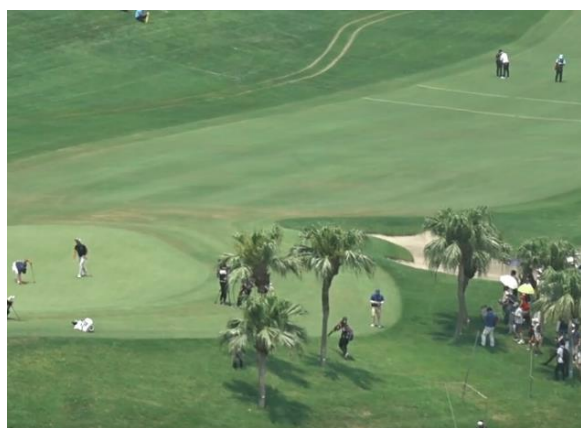
③ **【映像の低遅延リアルタイム伝送】** 今日の前で起こった出来事を、リアルタイムで届けることが可能

生中継では、シーンの切り替え時に生じるカメラ間の時間差が問題になりますが、AEROBO onAir では低遅延の映像伝送を実現しているため、複数のカメラを切り替えるゴルフ中継でも、最大限の力を発揮できます。

④ **【ジンバルズームカメラ】** 1台でカメラ複数台分の映像表現が可能

ジンバルと光学20倍のズームカメラをコントロールすることで、同じポイントで飛行し続けながらも、様々な映像を撮影することが可能。俯瞰した映像、ズーム映像、1台のカメラで多様な映像を撮影できます。





大会名称	第 87 回日本プロゴルフ選手権大会
賞金総額	1 億 5 千万円
TV 放送	○地上波<日本テレビ (NTV) 系、全国 31 局ネット ※生中継> ・ 7 月 7 日 (日) 15:00 ~ 16:25 ○BS<BS 日テレ> ・ 7 月 5 日 (金) 15:00 ~ 16:55 / 7 月 6 日 (土) 15:00 ~ 16:55 ・ 7 月 7 日 (日) 13:00 ~ 15:00、16:23 ~ 17:55 ○CS<日テレ G+> ・ 7 月 4 日 (木) 11:30 ~ 13:30 / 7 月 5 日 (金) 09:00 ~ 15:00 ・ 7 月 6 日 (土) 09:00 ~ 15:00 / 7 月 7 日 (日) 08:00 ~ 13:00

日本プロゴルフ選手権大会 (にほんプロゴルフせんしゅけんたいかい) は、毎年 7 月に開催されている日本プロゴルフ協会主催のプロゴルフメジャー大会 (公式戦) の一つである。(参照: ウィキペディア)

AEROBO® (エアロボ) はエアロセンス株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】エアロセンス株式会社 (www.aerosense.co.jp)

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-3868-2551、Email: contactus@aerosense.co.jp

エアロセンス株式会社について

エアロセンスは、ソニーと ZMP の合弁会社として、2015 年 8 月に設立されました。エアロセンスは、ソニーのカメラ・センシング・通信ネットワーク・ロボット分野における技術と、ZMP の自動運転・ロボット技術・産業分野へのビジネス経験を活かし、自律型無人航空機 (UAV) とクラウドサービスを組み合わせた産業用ソリューションの提供を通じて、より効率的な測量、点検、管理、物流等を実現し、環境にやさしく安心して暮らせる社会の構築に貢献していきます。エアロセンスの詳細については、www.aerosense.co.jp